

会 議 録

会議の名称	第18期東村山市社会教育委員会議（第13回）				
開催日時	平成22年8月26日（木）午後7時00分～9時00分				
開催場所	東村山市役所いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>出席者：</p> <p>（委員）神谷・桑原・小林・小山・島崎・土田・當間・吉井・吉満 敬称略</p> <p>（市事務局）社会教育課長 神山・生涯学習係主任 野沢・生涯学習係主事 野崎</p> <p>欠席者：（委員）森</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	1名
会議次第	<p>1．あいさつ</p> <p>2．協議事項</p> <p>（1）今期研究テーマの決定</p> <p>（2）協議手法について</p> <p>（3）協議の素材について</p> <p>3．その他</p> <p>（1）第15回会議日程について</p> <p>（2）あいさつ・ふれあいチャレンジプロジェクトについて</p> <p>（3）平成22年度東京都市町村社会教育連絡協議会第4ブロック研修会について</p> <p>4．閉会</p>				
問い合わせ先	<p>教育部社会教育課生涯学習係</p> <p>担当者名 神山・野沢・野崎</p> <p>電話番号 042-393-5111（内線3513）</p> <p>ファックス番号 042-397-5431</p>				
会 議 経 過					
<p>1．あいさつ</p> <p>課長 なぎさ体験塾が無事に終了した。また、9月より新たに秋津小学校、青葉小学校で放課後子ども教室が実施される。現在、当課で開設準備を進めており、多くの児童に参加していただきたいと思っている。</p> <p>議長 皆さんに前もってメール等で今期研究テーマの素案をお送りし、目を通していただけいたところである。皆さんのご意見をうかがい、テーマについて具体的に文章化できるよう今回会議で詰めていきたい。</p>					

## 2. 協議事項

- (1) 今期研究テーマの決定
- (2) 協議手法について
- (3) 協議の素材について

議長

前回会議で社会教育実態調査の結果について皆さまからご意見をいただき、当方で研究テーマの素案をまとめた。テーマについては「社会教育における諸課題に対し社会教育委員会議として、その解決方法を探る」という趣旨で進めていきたい。協議手法ならびに協議の素材についても当方で案を出してみた。皆様のご意見を伺いたい。

A委員

調査回答の中で組織の人材不足を訴えている団体がいくつかあったが、スタッフ確保のための努力が不十分ではないだろうか。仲間同士の集まりになってしまっている傾向はないだろうか。

B委員

団体の性格がそれぞれ違うので、一概に言えないが、活動が地域のためになるようどこかで促しが必要ではないか。

A委員

今までそのようなことを呼び掛ける機会が少なかったのだと思う。

C委員

スタッフが高齢化しているといった声も多く聞かれた。それぞれの団体に若年層を育てる組織力が必要ではないか。

D委員

実際に地域で活動している方々の意識を読み取ることも必要だと思う。

議長

様々な組織の関係者が読んで参考になるような内容を提言していくことで地域の社会教育のための手助けになるのではないか。各団体の発足当初の理念を見直すべきだとも思う。「まずは事業ありき」になっている傾向がある。

E委員

「社会教育とは何か」を各団体が認識しなければ、活動の意義が薄れてしまうと思う。本会議ではたらきかけを行い、社会教育について再認識してもらうことが必要だと思う。

F委員

他に頼るだけではなく「自ら変わる力」を育てていくのが社会教育である。子どもから年配の方までネットワークを深め、育む過程を明らかにしていくのがよいのではないか。

副議長

課題解決のためのヒントを見出せなければ話が進展しない。今回の調査で参考になる意見をくださった団体にヒアリングを行うなどして成功事例を探るのはどうか。

F委員

個々に見ていくより全体的な問題としてとらえていくべきだと思う。

#### A 委員

団体発足の意味合いは何だったのか。それを見直すべきである。

#### G 委員

いくつかの団体が人材不足を訴えていたが、本市の人口が増えている状況の中で本市の長所をもっとPRするべきではないか。その中で個々の団体の活動についてもっと幅広く周知したらよいのではないか。

#### B 委員

団体同士のつながり、更に団体と行政のつながりがなければ社会教育は成り立たない。社会教育を活性化するためにもつながりに視点を置くべきではないか。

#### F 委員

社会教育は柔軟な枠組みで行われるべきである。したがって個々の組織がつながって、ネットワークを形成することが重要だと思う。

#### 議長

今回出された意見を、更に具体的に文章化してまとめていきたいと思う。原点回帰、ネットワーク形成、市の魅力のPRに重点を置いていきたいと思う。今後の社会教育へつなげていけるよう本会議で課題を抽出し、はたらきかけていく方向にしたい。

### 3. その他

#### (1) 第15回会議日程について

- ・第15回会議 平成22年10月22日(金)午後7時～ 教育委員会室  
全委員の承認により上記日程で開催することが決定

#### (2) あいさつ・ふれあいチャレンジプロジェクトについて

- ・日時 平成22年9月11日(土)午前9時30分～正午
- ・会場 市民スポーツセンター

#### (3) 平成22年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について

- ・日時 平成22年10月8日(金)午後2時～4時30分
- ・会場 西東京市防災センター 6階 講座室2
- ・研修テーマ 「これからの社会教育のための地域ネットワークづくり」
- ・内容 地域活動の事例発表と講演  
出席される方は平成22年10月8日(金)午後1時までに市民センター前  
駐車場へ集合していただきたい。

### 4. 閉会